

第22号
編集発行
印刷

なまきじん

今帰仁村の人口
昭和52年3月31日現在
男女計
世帯数



昭和52年度第1回定例議会

村長施政方針を発表

昭和五十二年、第一回村定例会が、三月十五日から二十日
まで行なわれた。
「住民福祉・生活環境の整備」を推進していくことを強調
深刻な社会状況の中で、村財政も厳しい状態にあるが、村民の理
解・協力を得ての発展に努力することを表明した。

昭和五十二年、第一回村定例会が、三月十五日から二十日
まで行なわれた。
「住民福祉・生活環境の整備」を推進していくことを強調
深刻な社会状況の中で、村財政も厳しい状態にあるが、村民の理
解・協力を得ての発展に努力することを表明した。

改善を加え、国・県の諸制
度及び計画事業（農村総合
整備事業）を積極的に活用
し、産業基盤の整備、生活
環境の整備を推進して、高率
的行政の運営に最善の努力
を払って所存であり、今後
昭和五十二年は、復帰後
の行政執行の結実と実
績を踏まえて、特に
一、産業の振興
二、教育文化の振興
三、住民福祉・生活環境
の整備
を推進していきたいと考
えます。



はじめに
本日、昭和五十二年第一
回今帰仁村議会（定例会）
の開会にあたり、村政運営
について御報告を申し上げ
るとともに、所信の一端を
申し上げ、議員各位の御理
解と御協力をお願い申し上
げたいと思ひます。

私は村長就任にあたって
村民とお約束いたしました
とおり、村民福祉をはじめ、
影響を及ぼしました。そし

社会福祉の充実

昭和四十八年の石油危機
以来、社会経済情勢は急激
に悪化し、次いでの高率
成長時代から安定成長へと
移行していますが、経済は
いまだに回復せず、村の財
政もかつてない困難に直面
している状態です。
これまでも各市町村では、
ものを与えればよいという

産業の振興

復帰により大きな影響を
うけた本村の農業は、土地
買占めや、耕作放棄等によ
る耕地の著しい減少、耕地
利用方向の大幅な低下、そ
うきび、パイプアップル生
産の減退と特徴的な動きを
示しました。

本村の農業は従来の一歩手
前の状態でありました。
本土復帰六周年を迎えた
今日、復帰前後の急激な

産業の振興

を積極的に推進して、土地
生産性の向上をはかってい
きたいと思ひます。
さとうきびについて
本村は、さとうきび生産量
が、史上最高の七二、二七
トンを記録した昭和五十
九、四十年期以降減少す
り、昭和四十九、五十年
期（八、四七五ト）と最低
確保をはかるため、生産量
の確保、苗圃事業の推進、病
害虫防除、肥培管理の指導
などをはかっています。
さとうきびについては、
全工程において五〇％以上
を占める収穫機械の解決な
くないと甘作の発展はあり
ません。
取替作業の軽減をはかるた
め、今後は大型収穫機械の基
礎を整備、農業構造改善
事業による生産環境の育成

受けられるよう努めていき
たいと考えています。
国民年金・福祉年金
国民年金制度を申しあげ
るまでもなく、農業、漁業
商などの自営業者とその
家族のための制度です。
本村が加入して、入る人は三
千四百七十七人になりました。
換出制の国民年金受給者は
三百六十二人、老令福祉年
金受給者は九百二十六人と
なっています。現在、本土
と同等にするために特例道
納できることに、着々と
なっています。
国民健康保険
努力をしたいと思います。
全村民の約七十一％、七
千八百人が国民健康保険に
加入しています。当初の昭
和四十七年度は、昭和五十
一年度には、昭和三十九年
度で、年々急上昇している状
態であり、五十二年度は、
約三万八千八百円になるだ
ろうという推定をしています。
診療所の運営
診療所の運営については、
陳善理医師が従来おられ診
療してまいりました。
歯科診療
歯科診療については本村
出身の村田精太郎医師と契
約を二月二日締結し、第一回
日曜日に診療し、村長の歯
治療に努めてまいります。
整備事業も積極的に進め
たいと考えています。

産業の振興

近時、国民生活の向上に
伴ない食生活は高度化、多
様化の方向に進んでおり、
特に野菜は高級、良質、新
鮮な品物が要求されるよう
になってきています。
消費市場は生産地の直接に
方式等により流通機構に変
革がたらされ、出荷体制
の整備と商品性の向上が叫
ばれようになっています。
それは本村野菜の銘柄を高め
る利己共販体制を確立する
のが急務だと考えます。
五十二年においては、
地設園芸専攻（ハウ
ス）及び本土市場開拓（流
通機構の整備をめざす集
出荷施設）の充実をはかっ
ていく計画を進めています。

産業の振興

現在、畜産物は諸制度
（畜産公社、肉用牛安定基
金協会畜共済等）の機能
により増々、安定の方向に
進んでいると考えます。
本村としては、畜産
を将来の基幹産業として、
また畑作農業との有機的な
結びつきをいとも重要な
点におき、力をいれていく考
えをしています。
五十二年においては、
人工受精による肉用牛の生
産奨励、豚の品種改良、及
び防疫体制、畜産指導体制
の強化をはかるとともに、
畜産団地の計画にも力を入
れたいと考えています。



「はし」 芸術選奨を受賞

中央公民館の設計



昭和五十一年の建設以来、「村民の広場」としてすっかりおなじみになった中央公民館ですが、このたび、同公民館の建築が五十二年度芸術選奨文部大臣賞、新人賞（美術部門）に輝きました。（写真）

これは、昨年一年間に演劇、映画、文学、大衆芸能、美術、放送など十部門の分野で優れた業績を挙げた人々にあたられる賞で、同公民館を設計した象設計集団（代表者：大竹康市氏）に贈られたもの。

象設計集団は、この数年来、住民の立場にたった構想で、思納村、名護市、今帰仁村など沖繩の町々についてつめてきており、その成果が今帰仁村中央公民館の建築にひとつの結晶を見

「村民の祖先がくらしの知恵」生活の工夫としてあみだした手づくりの生活、生産用具（民具）は、機械文明の発達とともに失われつつあり、しかし、これらの民具は私たちの生活と文明の移りかわりを知る手がかりとして大切な民俗資料です。このため、中央公民館では村内の各家にある民具を集めて、後世のために貴重な文化遺産

ととして保存する計画をたてていきます。例えば、ティール、カマタ、ユートウイ、カラカラ、パニクツク、ウムクリ、バニキ、糸織りヤマ、ジバタ、すり白、木白、ユカイ千歯こぎ、トリーク、カマ、ソーサー、シイサ、その他戦前の軍服や芭蕉布など、衣・食・住全般にわたる民俗資料を集めています。

現在、婦人会、青年会、老人クラブ等の会合、各種サークル、展示会、各種講習会、講演会など多岐な形で活用されており、一日の利用者が平均して約五十人。今後は「社会教育施設として親しめる公民館活動の展開」各種学級、講座、サークル活動の充実、「レクリエーション活動の普及」を

重点目標にして、私達村民が積極的に公民館活動に参加し自分達の村を理解するのには、十年後、二十年後の未来を展望していきたいものです。

「後世に残そう」の知恵 民具の恵贈を 中央公民館

村民の方々の恵贈をお願い致します。なお、お聞いあわせ等については、中央公民館（TEL2645、2467）へおたずね下さい。

新しい技術の開発を！ 畜産試験場着工

理由で、以前から移転がき

沖繩畜産試験場の移転整備事業計画は、五十六年の工事完了をめざして着々と進んでいますが、その起工式が二月十七日午後一時から移転先の字諸志原において行なわれました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

現在、畜産試験場は用地面積が二・六六ヘクタールしかないうえ、試験研究に必要な圃場、草地がまったくない、畜基地で通風採光が悪く家畜の生理上好ましくない等の理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

現在、畜産試験場は用地面積が二・六六ヘクタールしかないうえ、試験研究に必要な圃場、草地がまったくない、畜基地で通風採光が悪く家畜の生理上好ましくない等の理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

現在、畜産試験場は用地面積が二・六六ヘクタールしかないうえ、試験研究に必要な圃場、草地がまったくない、畜基地で通風採光が悪く家畜の生理上好ましくない等の理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

現在、畜産試験場は用地面積が二・六六ヘクタールしかないうえ、試験研究に必要な圃場、草地がまったくない、畜基地で通風採光が悪く家畜の生理上好ましくない等の理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

現在、畜産試験場は用地面積が二・六六ヘクタールしかないうえ、試験研究に必要な圃場、草地がまったくない、畜基地で通風採光が悪く家畜の生理上好ましくない等の理由で、以前から移転がきばれていました。県農林水産部では、県有九カ所に予定地をたて計画を進めていましたが、このほど字諸志の上原に白羽の矢が当たりました。

新試験場は総面積四十六ヘクタール（約十三万八千坪）で内訳は、建物敷地用地十五ヘクタール、放牧試験用地十五ヘクタール、試験圃場用地一〇ヘクタール

畜産試験場では、家畜の防弊管理、放牧牛の管理、畜地の造成、汚水処理等家畜に関する総合的な技術の確立を研究的にしており、けい養頭数は肉牛六〇頭、乳牛三〇頭、豚三〇頭と起工式の当日はあいにくの悪天候でしたが、県から

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

知事、農林水産部長、沖繩総合事務局長（いずれも代理）、村長ら村長、助役、議員、区長など関係者約百人が列席して行なわれました。式は、祝詞奉や献入れなどの神折願のあと、県知

最近、尿浄化槽によってトイレを水洗にする家庭が多くなっていますが、尿浄化槽を新しく設置する場合は次の規定を守らなければなりませんのでお知らせします。

（設置できる地域）
一、排水路および下水路
二、河川または海城
三、農業排水路
（設置届けについて）
尿浄化槽を設置しようとする人は、尿浄化槽に保健衛生上支障のない地域とします。

（処理対象人員五百人以下の浄化槽）
以下の浄化槽で、自分で維持管理できないと認められる場合、それ相当の知識経験や器具機材を持った人に管理を委託して下さい。

（浄化槽の便器内に、塩酸、クレーノール等の消毒薬、防臭剤、殺虫剤等を使用しないで下さい。）
※ 浄化槽内の微生物に悪影響を与え、浄化槽の機能を低下させる結果になります。

（ハイクロン等の適当な消毒液を三〜五か月ごとに補充して下さい。）
（四）一年に一回以上は浄

可をうけた清掃業者が委託して下さい。
（五）使う浄化槽の場合には常時電源スイッチを入れたままにしてください。

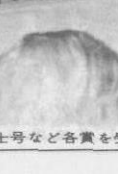
（六）注入形浄化槽の場合

村のほこりとして祝う

- 叙勲・功労・栄進・博士号
- 叙勲 叙勲 叙勲 叙勲
- 功労 功労 功労 功労
- 栄進 栄進 栄進 栄進
- 博士号 博士号 博士号 博士号

本村出身の方々の叙勲・功労・栄進・博士号に付する祝賀会が二月十九日午後三時から村役場ホールで行なわれました。村長、助役、祝賀会には、議長、議員、各局長、学校関係者など、村内から約百人が参加し、受賞の各氏を激励しました。今回、叙勲・功労・栄進・博士号に輝いた方々は次の八氏

田港朝明氏、教育功労
仲村毅一氏、教育功労
西島宗次郎氏、行政功労
熊五等及光旭日章、文化財保存功労
仲宗根政隆氏、
（財）博覧児童興業会より
博覧賞、琉球大学名誉教授



初夏の風をきつてスタート

第2回 リゾートサイクリング大会

沖繩県リゾート開発公社
沖繩県サイクリング協会共
催の「第二回リゾートサイ
クリング大会」が、四月三日午前九時から
リゾートステーション沖
縄エキスポランドのコース
で行なわれました。

この大会は、青少年をは
じめすべての参加者が、サ
イクリングを通して健全な
心身の発展をはかるとも
に、正しい交通道徳を身に
つけさせようというのがね
らい。二日のサイクリング
教室」に引き続き、三日
は、おからのバイイコに
チームも手振って二百九
十一名が参加、初夏の風を



そので休憩してリゾートス
テーションまでもりまし
たが、元気で子供達に比べ
て、大人が先に息ぎれる
場面もあり、道路わきの見
物人の同情、拍手をうけて
いました。それでも午後二
時すぎには全員がゴールイ
ンし、落後者は一人もま
せん。

きつて三十キロの道のり
を走りました。
参加者は、四才の子供か
ら小中高生、お年寄、外
人などさまざまですが、ほ
とんどが中部からの参加
で、地元の内からは六十
八人とチョビり少ないの
が残念。

往路は、ステーションか
ら農道を通り、今泊にゆけ
エキスポランドまでのコー
ス。普段、車の洪水の中で
満足にサイクリングを楽し
むことのできない都高の子
供達は、サトウキビ畑の中
を走らせ、通りにくいてい
ました。復路は、エキスポ
ランドで昼食をとった後
まっす、仲原馬場まで走

1人対4人の競争に人気!

北山郷友会運動会 スポーツ大会

那覇近郊在の村出身の方
々で結成している北山郷友
会、屋嘉部景栄会長のス
ポーツレジャーショー大会
が、さつた三月二十七日
奥之山公園内サクララウ
ンドで行なわれました。

この大会は、老幼男女の
郷友が集まり、気軽なスポ
ーツを通じ、楽しみながら
旧交をたためようという
趣意で、大会が行なわれる
は六年ぶりであつて、約二
千人が参加、村からも村長

途中、雨が降るアクシデ
ントがありました。熱戦

区役、議会議長、議員、各
部長が参加して朝の九時半
から夕方の四時まで、リレ
ー、ボール蹴り、風船わり
などの競技に興じました。
今大会一番の人気種目は、
今拍出身の上間敏郎さん
（上間君さんのお兄さん）
と四人一組、仲原清さん
と四人一組、仲原根次郎
さん、新垣正春さん）のリ
レーチームによる二、〇〇
メートル競争。結果は、
わずかにリレーチームが先
にゴールインしましたが、
五十五才の健闘いまだお
とろえず、上間さんに盛
んな拍手が送られていまし
た。



2000メートル競争で健闘した上間氏(左)

27年間に終止符(兼次教会) 保育園としてスタート

二十七年の長い間、村内
の幼児教育に力をそいで
きた、村唯の私立幼稚園(村
にある兼次教会幼稚園)が、
上仁實園長が、去つた三月
十九日の第二十七回卒園
式をもつて閉園いたしました。

閉園は、四月から村立幼
稚園が新たに二園開園する
ため、就園児を公共に委譲
することが最善の道である
という園の方針に基づくと
も。

国民年金を
早めに
納めましょう!!

五十一年度(五十一年四月か
ら五十二年三月)の保険料の納
付期限が今月末(四月三十日)
となっております。

今月中に納めませんと、納付
方法もかわり、大変めんどうな
ことになります。

まだの方は、早めに区長が役
場に納めるようになして下さい。

後の混乱期から現在までの
村教育長、教育委員、村長
関係者、歴代職員、卒園児
交際、地元住民など百六十
人が出席して行なわれまし
た。

式がおつた後、父母の
会による謝意会があり、戦
つた。

現在の施設を活用し、今後
までの経験をいかしながら
保育園として三才児、四才
児の教育に力をそく予定
なつた。

ちただ

三月は卒業のシーズンで
す。今年の各小中学校の卒
業式は、三月二十日に今
堀仁中学校、二十一日に古
宇利小中学校、兼次中学校
、清川小中学校、二十四日
に天底小学校、今堀仁小



写真は兼次中学校の卒業式

兼次小学校と、それ九行
なわれました。
校長先生から卒業証書を
手渡された卒業生達は、さ
すがに緊張した面持ちで
たが、在校生や父兄の暖た
かい拍手に送られ、胸をは
って通つてくれた喜びの舍を
後にしていました。

今年、村内の学校の卒
業生は、小学校二百三十四
名、中学校二百九十四名で、
中学校卒業の生徒のうち、
二百三十三人が高校に進学
することになっていきます。
なお、五十二度の新入児
童、生徒は、兼次小学校七
十一名、今堀仁小学校七十

行事日程

4月19日(火)	母親学級	中央公民館	午後1時半
4月24日(日)	第三回芸能祭り	役場ホール	午後2時
4月26日(火)	母親学級	中央公民館	午後1時半
4月28日(木)	妊婦相談	役場ホール	午後1時
◎健康相談	毎週土曜日	午前9時~12時	保健婦室
◎心配ごと相談	毎週金曜日	午後1時	中央公民館
◎人権相談	毎月10日	午前10時	中央公民館

昭和52年5月以降家畜セリ市開設日程

子豚セリ	▷ 6月16日、8月16日、10月6日、2月16日
肉用牛セリ	▷ 5月16日、7月16日、9月16日、10月16日、11月16日、12月6日

訂正
広報第二十号で「人
権擁護委員」の欄の、上
間信男さんの男の字と、
「各種委員紹介」の欄の
招の字は、それぞれ夫と
紹の誤りでした。お詫
びして訂正いたします。



160人が集まった開園式

編集後記
編集をおつて同報をな
がめていると、何故かもの
たりなきを感じます。村民
の昔懐きの声、を充分反映
させていないという気がし
ます。かきかきささるの
ようか。

広報では、そういうこ
とを解消するため、村民の
皆様の御意見、御要望、そ
の他広報紙に関するあらゆる
情報をお寄せ下さい、よう
望しております。

封書、葉書、電話、又は
直接御連絡いただけました
幸いに存じます。

〒901-1101
〒901-1101